

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

クラレグループ人権方針

トップステートメント

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

サステナビリティ長期ビジョン

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ中期計画 3Pモデル

GHG排出削減目標の新たな設定と重点施策

サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ中期計画 Product

サステナビリティ中期計画 People

クラレグループのマテリアリティ

Planet

Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表 (内容索引)

クラレレポート (統合報告書) / サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ

## サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ長期ビジョン



サステナビリティ推進体制



サステナビリティ中期計画 3Pモデル



GHG排出削減目標の新たな設定と重点施策



サステナビリティ中期計画 Planet



サステナビリティ中期計画 Product



サステナビリティ中期計画 People



- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope 1、2)
- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope 3)
- 環境負荷低減 / 省エネ・廃棄物・水資源・化学物質
- 気候変動への取り組み(TCFD)
- これまでの活動実績

### 環境負荷低減 / 省エネ・水資源・廃棄物・化学物質

クラレグループは、①省エネ、②廃棄物抑制、③水資源の有効利用、および、④化学物質の排出管理について、クラレグループにおける事業活動に今後も大きく関わる重要な環境課題と位置づけ、中期経営計画期間中の数値目標を設定し改善に取り組めます。

「より価値ある製品を、より少ない環境負荷で提供する」という考え方で、環境活動の評価指標を売上高原単位とし、中期経営計画期間の最終年である2026年に2019年比で5%以上改善することを目指します。化学物質の排出管理については、事業が拡大しても事業所外への環境負荷を増加させないことを目指し、排出量は2019年度実績値以下を目標とします。

> 詳細は [環境負荷低減の取り組み](#)

<サステナビリティ中期計画 Planet の環境負荷低減目標と2024年度実績>

活動項目	対象範囲	サステナビリティ中期計画 Planet（2022年～2026年）の 環境負荷低減目標	2024年度実績	評価
エネルギー 効率改善 (省エネ)	クラレ グループ	エネルギー使用量の売上高原単位： 2026年に2019年比5%以上の低減（改善）	エネルギー使用量の売上高原単位： 2019年比13.8%低減（改善）	☆☆☆
廃棄物の 有効利用	クラレ グループ	廃棄物発生量の売上高原単位： 2026年に2019年比5%以上の低減（改善）	廃棄物発生量の売上高原単位： 2019年比38.5%低減（改善）	☆☆☆
水資源 (海水除く)の 有効利用	海外クラレ グループ	水使用量（海水除く）の売上高原単位： 2026年に2019年比5%以上の低減（改善）	水使用量（海水除く）の売上高原単位： 2019年比23.9%低減（改善）	☆☆☆
化学物質の 排出管理	国内クラレ グループ	化学物質排出量： 2019年度実績値以下に管理	化学物質排出量：733トン (2019年度実績値：967トン)	☆☆☆
	海外クラレ グループ	生産拠点各国・地域の化学物質排出規制を遵守するとともに、定量管理を継続する。	化学物質排出規制を遵守し、定量管理を実施した。	☆☆